

# 通 信

\*\*\*\*\*  
**沖縄生物学会第47回大会の開催のお知らせと講演プログラム**  
 \*\*\*\*\*

日時： 2010年5月29日(土)  
 場所： 名桜大学 講義棟

沖縄生物学会第47回大会が名護市の名桜大学にて下記の日程で開催されます。今大会は30題の一般発表(口演15題、ポスター15題)があります。昨年同様、小学生によるポスター発表(3題)に加え、高校生の発表(3題)、パネル展示(高校生5題及び小学生1題)もあります。公開シンポジウムは、今年の国際生物多様性年に関連した発表・パネルディスカッションを行います。第1回池原賞の受賞講演もあります。多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

大会日程			
5月29日(土)	受付	8:30～	講義棟110
	一般講演	9:00～12:00	講義棟109
	ポスター講演<小学生>	12:00～12:30	ピロティ
	休憩(昼食)	12:30～13:05	
	総会	13:05～14:05	講義棟109
	受賞者講演	14:05～14:30	講義棟109
	一般講演	14:30～15:30	講義棟109
	ポスター講演	15:30～16:30	ピロティ
	公開シンポジウム	16:30～18:30	講義棟109
	懇親会	18:30～20:00	大学食堂

- ・参加費用大会参加費 : 1,500円 (学生 1,000円)
- ・懇親会 懇親会費 : 2,000円 (学生 1,000円)

場所: 名桜大学  
 沖縄県国頭郡名護市為又1220-1  
 大会会場: 講義棟109教室及びピロティー  
 公開シンポジウム会場: 講義棟109教室  
 懇親会会場: 大学食堂



# プログラム

## 一般講演(講義棟109)【9:00~12:00】

1. 9:00~9:15 高江洲賢文(沖縄県農業研究センター名護支所) 導入植物2種の区外逸出による地域の植生への侵入
2. 9:15~9:30 \*藏屋英介<sup>1</sup>・塚原正俊<sup>2</sup>・中村大助<sup>2</sup>・豊里友彦<sup>3</sup>・小橋川 健<sup>3</sup>・金城道男<sup>4</sup>・仲地 学<sup>4</sup>・外村浩幸<sup>4</sup>(沖縄工業高等専門学校<sup>1</sup>, (株)トロピカルテクノセンター<sup>2</sup>, 大和コンクリート(株)<sup>3</sup>, NPO どうぶつたちの病院<sup>4</sup>) ヤンバルクイナのロードキル回避システムの開発
3. 9:30~9:45 玉城泉也・藤田雄二・藤吉栄次・小林正裕(水研センター西海区水産研究所)・阿部真比古(水産大学校)・菊地則雄(千葉県立中央博物館海の博物館)・須藤裕介(沖縄県水産海洋研究センター) 沖縄県宜野湾市にて採集した紅藻アマノリ属の葉状体の形態的特徴と DNA による種判別について
4. 9:45~10:00 藤田喜久(琉大・大学教育センター/NPO 法人 海の自然史研究所)・岸本和雄(沖縄県水産海洋研究センター)・香村真徳(沖縄県環境科学センター) 宮古島と波照間島の湧水に生育するチスジノリ属藻類
5. 10:00~10:15 楠井善久(和歌山県) 沖縄からグアム島に侵出したツヤハナムグリ2種について
6. 10:15~10:30 \*新垣則雄(沖農研)・下地幸夫(沖大地研)・若村定男(農生研) リュウキュウツヤハナムグリ *Protaetia pryeri pryeri* (Janson)は樟脳に誘引される

10:30~10:45 <休憩>

7. 10:45~11:00 \*宮国泰史(鹿児島大院・連農)・杉尾幸司(琉球大・教)・辻和希(琉球大・農) コウシュンシロアリ *Neotermes koshunensis* (Shiraki) における成虫型二次生殖虫を用いた生殖虫補完機構
8. 11:00~11:15 \*岩本健輔(琉球大院・理工)・張至維(台湾海洋生物博)・吉野哲夫・今井秀行(琉球大・理) アミアイゴ(*Siganus spinus*)の集団構造からみる北赤道海流と黒潮の働き
9. 11:15~11:30 河野裕美<sup>1,2</sup>・水谷 晃<sup>2</sup>・菅原 光<sup>3</sup>・\* 村越未来<sup>3</sup> (東海大<sup>1</sup>海洋研,<sup>2</sup> 沖縄地域研,<sup>3</sup> 院・海洋) 保護飼育下におけるカツオドリ雛の成長と渡去過程
10. 11:30~11:45 \*水谷 晃<sup>1</sup>・河野裕美<sup>1,2</sup> (東海大<sup>1</sup> 沖縄地域研究センター,<sup>2</sup> 海洋研究所) 八重山諸島における沿岸性アジサシ類の 2009 年繁殖状況 —水谷・河野(2009)により提唱されたモニタリング手法の実践—
11. 11:45~12:00 当山昌直(沖縄県文化振興会) 近世琉球史料にみる海馬について(予報)

## ポスター講演<小学生>(講義棟ピロティ)【12:00~12:30】

- 12:00~12:20 兼島大・当間貴大・阿部啓太・兼島唯・川井紫丸・豊島志帆・森山竜也・吉村太悟・阿嘉将史(座間味村立阿嘉小学校)、遠藤晃(南九州大学)
- ・ケラマジカの好き嫌い調べ I:何がきらいか?
  - ・ケラマジカの好き嫌い調べ II:何できらいか?
  - ・ケラマジカの好き嫌い調べ III:ほかにきらいなもの?

遠藤晃(南九州大学) 座間味村における離島を拠点とする環境教育の実施体制

**休憩(昼食)【12:30~13:05】**

**沖縄生物学会総会(講義棟109)【13:05~14:05】**

**池原賞受賞者講演(講義棟 109)【14:10~14:30】**

佐々木健志(琉球大学資料館) 沖縄の絶滅に瀕した昆虫類の現状と同じく絶滅に瀕した藁算について

**一般講演(講義棟 109)【14:30~15:30】**

12. 14:30~14:45 \*中本 敦<sup>1</sup>・佐藤亜希子<sup>1</sup>・金城和三<sup>2</sup>・伊澤雅子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>琉球大・理・<sup>2</sup>冲国大・法) 沖縄島で見られるオリオオコウモリの個体数の増加について
13. 14:45~15:00 \*國府方吾郎<sup>1</sup>・中村剛<sup>2</sup>・Paul I. Forster<sup>3</sup>・平山裕美子<sup>1</sup>・横田昌嗣<sup>4</sup>(<sup>1</sup>科博・植物,<sup>2</sup>台湾中央研究院,<sup>3</sup>QLD Herbarium,<sup>4</sup>琉大・理・海洋自然) クスノキ科スナヅル属2種の隔離分布検証と分類学的再検討
14. 15:00~15:15 \*三瀬武史・上田満・安元健(沖縄科学技術振興センター マリンバイオ事業推進室) 海藻カロテノイドであるフコキサンチンに着目したオキナワモズクの有効利用
15. 15:15~15:30 大城洋平・金城孝一・仲宗根一哉・城間博正(沖縄県衛生環境研究所) サングの環境中のHSP70mRNA 応答状況とその応答要因の検証

**ポスター講演(講義棟ピロティエ)【15:30~16:30】**

1. 遠藤晃(南九州大学) 座間味村における離島を拠点とする環境教育の実施体制(※小学生のポスター講演時間帯に講演)
2. 島仲有沙・砂川由希(沖縄県立那覇高校3年 自然科学部生物班) 宮城島(うるま市)におけるオカガニの繁殖生態に関する研究
3. 西里公作・垣花武志(沖縄県立宮古高等学校 生物クラブ) 宮古島の湧水域環境保全を目指した研究~湧水域に生息する生物の保全を目指して~
4. 米須巧哉・宮城誠也・平良正人(沖縄県立辺土名高等学校 サイエンス部) ヤンバルクイナ・ノグチゲラ・アカヒゲの分布調査Ⅲ
5. 西平守孝・西原ちひろ((財)海洋博覧会記念公園管理財団総合研究センター) (財)海洋博覧会記念公園管理財団総合研究センターにおける公開講座などの紹介
6. 富永篤(琉球大・教育)・五箇公一・鈴木一隆(国立環境研)・田向健一(田園調布動物病院)・宇根有美(麻布大・獣医・病理) 中琉球におけるカエルツボカビの分布とその感染力
7. 新垣裕治(名桜大・国際・観光産業)・嘉陽和那(名桜大・国際・観光産業) 沖縄島におけるマングローブの分布状況
8. 新垣裕治(名桜大・国際・観光産業)ハワイ大学構内(マノア本校、オアフ島)におけるジャワマンゲース(*Herpestes javanicus*)の行動観察

9. アブドゥラ ムハムマド ファドリー(琉球大院・理工・海自)・井上 博(琉球大・理・海自)・岩本健輔(琉球大院・理工・海環)・今井秀行(琉球大・理・海自) 沖縄島から県内初記録されたネットアイセエビ(新称)と RAPD マーカーによる分子系統学的位置
10. \*北野忠<sup>1)</sup>・唐真盛人<sup>2)</sup>・濱田康正<sup>3)</sup>・水谷晃<sup>4)</sup>・崎原健<sup>4)</sup>・河野裕美<sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup>東海大・教養 <sup>2)</sup>石垣中学校 <sup>3)</sup>東海大院・人間環境 <sup>4)</sup>東海大・沖縄地域研究センター) 八重山諸島における止水性ミズマシ類の生息状況
11. 渡邊謙太 (沖縄工業高等専門学校) 辺野古・大浦湾に生育する海浜植物のスキヤナを用いた画像データベース構築の試み
12. \*鳥居高志・塩根嗣理・平中晴朗・西田弘之(いであ(株))、鍵田和彦・岩田雄一郎(沖縄総合事務局 北部ダム事務所) ダム事業における「しばづけ」を用いた希少魚類タナゴモドキの保全
13. 塩根嗣理<sup>1</sup>・\*桜井 雄<sup>2</sup>・平中晴朗<sup>1</sup>・鳥居高志<sup>1</sup>・石水秀延<sup>1</sup>・田端重夫<sup>1</sup>・細谷誠一<sup>1</sup>・野中圭介<sup>2</sup>(<sup>1</sup>いであ(株)・<sup>2</sup>沖縄環境調査(株)) 国内移入植物ヒルギダマシのトカゲハゼ生息地への侵入とその影響
14. 河野裕美<sup>1,2</sup>・水谷 晃<sup>2</sup>・小菅丈治<sup>3</sup>・\*丹尾岳斗<sup>4</sup>(<sup>1</sup>.東海大・海洋研,<sup>2</sup>.東海大・沖縄センター,<sup>3</sup>.マングローブ協会,<sup>4</sup>.東海大院・海洋) 仲ノ神島海鳥集団繁殖地におけるオカヤドカリ類の初記録
15. \*平中晴朗・田端重夫(いであ(株))・志村耕司((株)鴻洋)・堤敏郎(那覇港管理組合) 沖縄島南部でみられるカサノリの景勝地の現状と形成要因について

## 公開シンポジウム(講義棟109)【16:30~18:30】

### 生物多様性地域戦略

～戦略に資するモニタリングデータの効果的収集～

1. 16:30~16:35 趣旨説明
2. 16:35~17:00 「生物多様性基本法と生物多様性地域戦略」  
奥田直久(環境省那覇自然環境事務所)
3. 17:00~17:25 「南西諸島における生物多様性優先保全地域の地図づくり」  
安村茂樹(WWFジャパン自然保護室)
4. 17:25~18:00 「生物多様性ちば県戦略とモニタリング活動」  
浅田正彦 (千葉県・生物多様性センター)
5. 18:00~18:30 総合討論  
「生物多様性地域戦略に資するモニタリングデータの効果的収集」  
パネリスト  
田中 聡(沖縄県立博物館・美術館)  
浅田正彦(千葉県・生物多様性センター)  
花井正光(元琉球大学観光産業科学部)  
他 若干名  
進行 安村茂樹(WWF ジャパン)

## シンポジウム趣旨

2008年に生物多様性基本法が施行された。基本法では、生物多様性を「様々な生態系が存在すること並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在すること」と定義している。「生物多様性地域戦略」は、この基本法において、地方公共団体に対して策定を努力義務として定めているもので、我々の暮らしや文化を支えている生物多様性を保全し、社会経済活動と自然環境が調和する地域づくりを進めていくためのものである。既に千葉県や愛知県などが少なくとも15以上の自治体が戦略を策定し、公表している。沖縄県においては、沖縄振興計画が2011年に終了するにあたり、新たな基本構想として掲げた「沖縄21世紀ビジョン(案)」で生物多様性の重要性を指摘し、2010年度からは生物多様性地域戦略策定に向けた情報収集を開始している。

本シンポジウムでは、まず、こうした背景や生物多様性地域戦略策定に役立つ活動事例、市民自らの運営によるタウンミーティングや県民会議等の開催を経て策定された千葉県の生物多様性地域戦略の事例を紹介する。生物多様性地域戦略が策定されれば、生物多様性がもたらす恵みを守り、それを持続的に活用した地域づくりが今後求められようになる。その際、経済振興と自然保護との対話を円滑に進める上での拠り所として、また自然環境の現状や地域戦略に基づいた取り組みを評価する上での基盤となりうるモニタリングデータの存在がより重要になってくる。そこで総合討論では、現在行われているモニタリング活動の状況を概観し、データをより効果的に収集してゆくため、地域住民、学校、研究機関、博物館、NPOなどが関わるモニタリングへと発展させてゆくためのアイデアや課題を、フロアを交え意見交換を行いたい。

## 展示パネル

宮古島咲田川の生物と水質の調査	北村育海(宮古島市立平良第一小学校)
辺土名高校周辺の河川調査Ⅳ	辺土名高校環境科 (平成21年度2年生共同研究)
河川生物を用いた水質階級の判定(沖縄本島 11 河川)	沖縄県立真和志高等学校 環境科学部
コバナヒメハギの香りについてⅡ	吉元充・賀数飛鳥・笠井龍(辺土名高校サイエンス部)
マツの葉を用いた大気汚染調査(沖縄本島 25 地点)	島袋友輝(沖縄県立真和志高等学校 環境科学部)
チョウを用いた環境診断(沖縄本島南部 3 地点)	栗國里史・金城一樹(沖縄県立真和志高等学校 環境科学部)

## 懇親会(大学食堂)【18:30~20:00】

シンポジウム終了後、構内の大学食堂に移動し、ささやかな懇親会を予定しております。講演時間内に出来なかった討論や会員同士の親睦をより深めるため、是非ご参加下さい。

\*\*\*\*\*  
評議員の皆様へのお知らせ

沖縄生物学会評議会を、2010年5月24日(月曜)19時より、琉球大学理学部本館5階528室にて開催致します。ご参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

議題は、1)47回大会準備状況について、2)沖生誌48号について、3)その他です。ご参加いただける方はあらかじめ庶務(okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp)までご連絡下さい。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会評議会報告

\*\*\*\*\*

### 1. 概要

沖縄生物学会評議会が2010年4月12日(月)と4月26日(月)午後7時から2時間ほど、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者はそれぞれ約15名でした。

### 2. 内容

#### 1) 第47回大会の準備状況

大会の準備状況について、大会準備委員より報告がありました。詳細は1～5ページをご覧ください。

#### 2) 第47回大会のシンポジウムの内容、準備状況

シンポジウムの内容・準備状況について、世話人の横田会長から報告がありました。詳細は4～5ページをご覧ください。

#### 3) 第一回池原賞受賞者の決定について

選考委員会から、選考の経緯と結果について報告があり、評議員から承諾されました。

#### 4) 池原先生記念出版事業の進行状況

池原貞雄先生記念出版事業委員会より報告があり、現在、依頼と公募による執筆をお願いし、査読・編集が行われていることが報告されました。

#### 5) 西平前会長の学士院賞受賞特別講演会と祝賀会について

6月21日に授賞式が行われることが報告されました。西平先生と日程調整を行い、記念特別講演と祝賀会を計画していることが報告されました。

#### 6) 第48回大会総会での議題・司会と議長団について

次回5月24日の評議会で決定することとなりました。

#### 7) 第48回大会(2011年)と動物分類学会との合同大会の日程について

2011年6月3日(金曜)～6月5日(日曜)の日程での開催について提案され、承認されました。

#### 8) 「学術登録団体」の取り組みについて

昨年度からの準備状況について、今後必要な情報についての問い合わせについて報告されました。

#### 9) 役員の改選について

次期評議員についての報告がありました。

#### 10) 沖生会誌48号の編集状況について

受理された原著論文6編、短報6編、資料3編であり、7月の発行を目指した手続きが進んでおり、現在査読に回っている論文2編は、49号での掲載対象となることが報告されました。

#### 11) その他の報告

・4月29日 会員の諸喜田 茂充 氏が環境大臣賞を受賞されることが報告されました。

・7月から海洋博記念公園で国立科学博物館の企画展「琉球の植物」パネルが展示されることが報告されました(8月以降は琉球大学の風樹館で展示予定)。

---

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。

電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

## 沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長，副会長，監査員および評議員は下記のとおりです。任期は、2008年5月24日から2010年5月の総会までです。

会長 横田昌嗣(琉球大学)

副会長 山城秀之(沖縄工業高等専門学校) 久場政春(生物教育研究会会長)

監査員 稲福 弘(沖縄県総務部) 武村栄子(沖縄建設弘済会)  
菊川 章(球陽高校)

評議員

大学関係 新垣裕治(名桜大学) 宮城邦治(沖縄国際大学)  
照屋建太(沖縄キリスト教短期大学)

研究機関 新垣則雄(県農業研究セ) 野中正法(沖縄美ら海水族館)  
長井 隆(財・沖縄県環境科学センター)

行政機関 当山昌直(沖縄県文化振興会)  
澤志泰正(那覇自然環境事務所)

高校関係 安座間安史(辺土名高校) 村上美穂子(読谷高校)  
神谷保江(元高校教諭)

中学校関係 比嘉清文(嘉数中学校) 平良正哉(知念中学校)

さらに以下の幹事，編集委員が会長によって委嘱されました。

庶務 須田彰一郎(琉球大学) 佐藤 綾(琉球大学)  
中村 崇(琉球大学)  
金城和三(沖縄国際大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)

会計 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)

編集幹事 久保田康裕(琉球大学) 成瀬 貫(琉球大学)

編集委員 伊藤竜一(琉球大学) 太田英利(兵庫県立大学)  
大瀧丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

## 沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会 沖縄営業所 所長 安次嶺 学  
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政  
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也  
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

\*\*\*\*\*

\* **原稿募集のお知らせ** \*

\* \*

\* これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投  
\* 稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結  
\* 果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこ  
\* で、45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への  
\* 入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

\* 1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での  
\* 承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考  
\* えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

\* つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿  
\* に際しては、45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意いただきま  
\* すよう合わせてお願いします。

\* なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫  
\* (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

\* 原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

\* 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

\* 沖縄生物学会編集委員会 \*

\*\*\*\*\*

## 沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

佐藤 綾(098)895-8555, 須田 彰一郎 (098)895-8564

中村 崇 (098)895-8897

FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会